



アテネ オリンピック出場!!
ATHENS 2004
本校 四人目! ウェイトリフティング **山田 政晴** 選手

祝 第28回アテネオリンピック日本代表 **山田 政晴** 選手 激励壮行会
主催 群馬県ウェイトリフティング協会



- 本校OBのオリンピック出場選手**
- 一人目 ウェイトリフティング (ソウル) 原 徹
 - 二人目 フェンシング (ソウル) 出野 晴信
 - 三人目 サッカー (アトランタ) (シドニー) 松田 直樹

「英才」!! 夏期講習

進路

保育科発表会に向けての準備

コラム 育英 夏の教訓

今年の夏は暑かった。昼の甲子園とアテネの夜が同時進行、少々寝不足気味となったが、若者の活躍で日本中が沸き、猛暑の中にも爽やかな風が列島を吹きぬけていった。

オリンピック・メダリストの言葉も印象に残るものがあった。「チヨ―気持ちいい。」は今や流行語になりつつあるし、「努力は結果を裏切らない。」や、「銅でも金以上に多くのことを学ぶことができた。」といった言葉など。そして、どの選手も一様に、家族や支援者、コーチといった多くの陰の力に対し感謝の意を表していた。

一日二十四時間、一年三六五日、この当り前に過ぎていく一瞬一瞬をより良く生きようとす「意志」と「努力」の積み重ねの上に「結果」がついてくるのだと思う。若ければ若いほど、大きな目標を立て、日々の努力をして欲しい。老いてもそれなりに、更なる目標を持って生きたいものだと思おう。(S)

前橋育英高校報

発行
 前橋育英高等学校
 合同紙広報委員会
 前橋市朝日が丘町13
 TEL027-251-7087
 FAX027-252-9419

印刷
 株式会社 ヤマザキ
 高崎市巾着町483-8

- 主な内容**
- 1面 オリンピック出場
 - 2面 平成17年度生徒募集 他
 - 3面 スポーツの活躍 他
 - 4面 保護者会だより
 - 5面 保護者会だより (進路講演会他)
 - 6面 同窓会だより (雄渾)
 - 7面 同窓会だより (雄渾) (私の近況報告)
 - 8面 後援会だより

「建学の精神」

「正直・純潔・無私・愛の道義標準に基づいて、徳徳理念を培い、知育・徳育・体育を以って人格の陶冶と練成をはかり、つねに国際的視野に立って、世界平和と社会の福祉に貢献できる人材の育成を期することを建学の精神とする。」

「現在から未来に向けての展望」

理事長 中村義寛



今年の夏は、発祥の地アテネで開催されたオリンピックでの日本選手団の活躍、過去最高のメダル獲得に日本中が沸きました。本学園関係でも、前橋育英高校卒業生である山田政晴選手が、本校四人目のオリンピック代表選手に選出されましたが、名譽なことであり学園としても本当にうれしく思っております。

前橋育英高校は、スポーツにおいて県内でも屈指の実績を上げてきておりますが、今後もより一層

の指導の充実を願うと共に学園としても、スポーツ環境の整備充実に努めてまいります。さて、本学の建学の精神「教育理念」は、「正直・純潔・無私・愛」の道徳標準に基づき、道徳理念を培い、もって知・徳・体のバランスのとれた人格の陶冶と錬成をはかり、常に国際的視野に立って、世界の平和と社会の福祉に貢献できる人材の育成を期すことにあります。

今後この理念の下、より一層多様化した生徒の能力・適性・進路に応じた目的別教育を目指します。すなわち、普通科においては、特進クラス、進学クラスともに生徒の目標

「私学育英の目指すところ」

学園長 中川豊美



来年度の群馬県内の中学校卒業見込み者数が、今年度と比較して約千四百名近く減少することになる。

競争が始まることになる。今後とも継続する生徒減少期を乗り切るために、すでに公立高校では学校の統廃合や、新しい科やコースを導入など、生徒確保のための対策をいち早く打ち出してきているが、当然のことながら私学においてもこれまで以上に魅力ある高校作りのための対策が急務となってきた。

本県では公私立間の協定があり、現在のところ中学校卒業見込み者数の、公立七対私立三の割合で生徒を収容することになっている。従って、公立高校では今年度より二十二学級減の定員で、来年度の生徒募集を実施することになった。ところが県内の私立高校では、来年度の募集定員を減ずるところはないので、結局私学間で生徒確保のための厳しい

本校でも小茂田副校長を中心に将来構想委員会を立ち上げ、九年後の創立五十周年を目標とした抜本的な改革案を検討しているところである。具体的には「建学の精神」を柱とし、本校の特色である「スポーツ」と「保育」の充実に加え、より一層強力な「進学体制」の確立とさらには

に合わせた授業やシステムを設け、最高学府で学びうる実力を養成させ、進学実績の向上を図ること、体育科では全国に通用するチャンピオンの育成と知・徳・体三拍子そろった人材を育成し、社会スポーツの指導的拠点となること、また、保育科では五カ年一貫教育による優れた幼児教育者の育成を主眼とし、短大・大学への進学指導強化をしていきたいと思っております。

来年度から十五歳人口は激減していきませんが、上述したように前橋育英高校は、時代や生徒のニーズに合った現代型の高等学校に常に進化・成長してゆくことを目指し、その存在意義を確固たるものにしたしたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

施設設備の充実を図り、地域社会の要望に十分に応えられる高校を目指しているところである。

平成17年度 生徒募集

教頭 小林典之

平成十七年度入試については、総募集定員の変更はありませんが、普通科においてコース別の定員変更を行います。昨年は特進コース六百六十名、進学コース二百名となっていました。今年度は、特進コース二百名、進学コース六百六十名となります。又、特待生入試において、D合格も特進コースの合格となります。以上が変更になる点です。平成十七年度は中学校の卒業生が千二百余名減少するため、厳しい状況ではあります。生徒及び保護者の方々の要望に応えつつ定員の確保を計りたいと思っております。

【募集要項(概要)】
一、募集定員 合計五百十名
普通科 男女 三百六十名
特進コース 二百名
進学コース 六百六十名
体育科 男子 八十名
保育科 女子 七十名
二、試験日程
◎特待生および推薦試験
試験日 特待生 一月十六日
推薦 一月十七日
◎一般試験
合格発表 二月一日(学力試験日)
試験日 二月一日(学力試験日)
合格発表 二月四日(面接)

役員表

朝日会	会長 長谷川 隆	副会長 鈴木 隆	事務局長 木崎 隆	庶務 野崎 隆	会計 清野 隆
丘町会	会長 中野 隆	副会長 藤野 隆	事務局長 清野 隆	庶務 野崎 隆	会計 清野 隆
自治会	会長 野崎 隆	副会長 清野 隆	事務局長 野崎 隆	庶務 野崎 隆	会計 清野 隆
役員	会長 野崎 隆	副会長 清野 隆	事務局長 野崎 隆	庶務 野崎 隆	会計 清野 隆

ぐんま少年の船・乗船記

驚きの五日間

長居 愛(二一五)

「縦にすると県庁よりも高いぞ!」これは私達がお世話になった船につぼん丸の大きさです。それよりも大きかったのは団員の友情でした。顔も名前も知らない人達同志が、そこまでお互いに協力し仲良く過ごせたのは、きつと内容に富んだプログラムや洋上という特別な環境だったためだと思えます。船内では

チクサクコール

原 こむぎ(三一七)

「ぐんま少年の船」では集合したり点呼をとる場面が沢山あります。しかし私の組の子供達はバラバラで注意してもなかなか集まってくれず、私たちが班長は困っていました。二日目に行われた洋上オリオンビツクの種目に円陣を組みかけ声(チクサク)を叫ぶチクサクコールという種目がありました。私たちの組の持ち味である元気の良さが発揮できるこの種目。組全体が燃えました。結果はみごと満点。全員で喜びました。皆笑顔で楽しそうに本音が一つになれたと思えました。

皆が成長

宇佐美 智之(三一二)

私は今年「ぐんま少年の船」に参加し、普段の生活では接する事のできない小・中学生と過ごす事により、ある事を学ぶ事ができました。それは団結と協力の大切さでした。この「ぐんま少年の船」は、洋上オリオンビツク、さよならパーティー等、いろいろな場面での団結と協力が試されました。しかし、私の組はばらばらで集合も遅く、いつも他組をまたせている状態でした。このような状態では始まった洋上オリオンビツク。組長として団結と協力が一番必要とする洋上オリオンビツクは悩みましたが、いざ始まって見ると組はがらりと変わりました。皆が協力し上位入賞まですることができました。皆が仲良く、協力し今までの組ではないのではないかと思えるほどでした。

そして、五日間は一日目より組の皆が成長し、それ以上に私も成長することができました。

スポーツの結果

広報室次長 湯本 俊明

◆インターハイ(中国04総体)◆

サッカー 団体第三位

フエンスシング 個人工べ第六位 遠山 仁幸

「君の輝く一瞬が今伝説になる」をスローガンとして、高校スポーツ最大の祭典、平成十六年度全国高等学校総合体育大会・中国04総体(通称インターハイ)が、七月二十六日より島根県を中心に開催された。

本校からは、サッカー、柔道、バスケット、陸上、自転車、ウェイトリフティング、ボクシング、フエンスシング、水泳の九つのクラブ(選手総勢八十一名、県内最多が群馬県代表として出場した。今年も各クラブともに全国の強豪校を相手に活躍がみられたが、特筆すべきはサッカー部。準決勝では惜しくも優勝した国見高校に敗れたが、堂々の第三位入賞である。またしても国見の壁は厚かったが、冬の選手権での雪辱を期待したい。

また、個人ではフエンスシングで遠山仁幸君が、個人工べで第六位に入賞した。

以下、インターハイでの各部の成績を列記する。



【フエンスシング】個人工べ

第六位 遠山仁幸(三一B)

【サッカー】団体第三位

一回戦 藤枝東

(静岡)一一一(PK四一一)

二回戦 東海学園(愛知三一〇)

三回戦 米子北(鳥取二一一)

準々決勝 桐光学園(神奈川)三一〇で勝利

準決勝 国見(長崎)〇一一で敗退第三位

※国見は決勝で市立船橋(千葉)を下し、優勝。

【バスケット】団体

一回戦 金沢(石川)

七十八―七十五

二回戦 大麻(北海道)

速報!!

軟式野球 前商敗り関東大会初出場!!

一〇六一―六十五で敗退

【ボクシング】

M〇級 黒木真勝(三一五)

LW級 坂田勇歩(三一三)

【ウェイトリフティング】

男子六十九級級 神村洋平(三一三)

八十五級級 片平悠介(三一七)

女子六十三級級 大山恵理(三一七)

【柔道】団体 予選リーグ敗退

個人百超級 世ノ亨(三一A)

個人百超級 清水 司(二一B)

【陸上競技】

八百m 木村哲也(二一A)

千五百m 五千米

小野裕幸(三一)

四百MH 是木滝彦(二一A)

四百MH 岩木佑太(二一一)

四×百MR 武石史也(三一A)

谷口慎也(三一A)宮澤大吾(二一B)

博(二一四)有馬佳一郎(二一B)

棒高跳 奥木 卓(三一B)

やり投 金子智洋(三一B)

【自転車競技】

飯塚 航(三一十二)チームパ

ーシュート・個人ロード

池田 諒(三一十二)チームパ

ーシュート・ポイントレース・

個人ロード

個人ロード

夏季国体 飛び込み 毒島泰士 成年の部で5位入賞!!



- 山南光秀(三一A)チームパーシュート・エリミネーション
- 横田政直(三一A)チームパーシュート・個人TTロード
- 吉武 惇(三一三)チームパーシュート
- 関 佑紀(二一A)チームパーシュート・四km速度
- 伊丹健治(二一B)チームパーシュート・個人ロード
- 【水泳】個人ロード
- 百m 二百m バタフライ 島田康徳(二一四)
- 百m 二百m 平泳ぎ 大塚一輝(二一B)
- 四百m メドレーリレー 斎藤勇也(三一B)井村昌裕(三一B)片貝亮太(二一B)
- 飛び込み 岡部 優(二一A) 飛び板飛び込み・高飛び込み

◆第59回国民体育大会◆

第五十九回国民体育大会(彩の国まごころ国体)の夏季大会が九月十日〜十四日、秋季大会が十月二十三日〜二十八日まで埼玉県で行われる。本校では次にあげる選手の出場が決定している。群馬県代表として、各競技とも激戦だった関東ブロック予選を勝ち抜いた本校選手活躍に期待したい。

◎夏季国体

【水泳】三名

島田康徳(二一四)

大塚一輝(二一B)

飛び込み

岡部 優(二一A)

成年選手として毒島泰士

【サッカー】九名

伊藤拓真(三一A)新井隆法(三一)

△後藤涼(三一A)細貝萌(三一)

△青山直晃(三一B)石田昂毅(三一)

一樹(二一A)堀越寛人(二一B)

◎秋季大会

【陸上競技】一名

小野裕幸(三一)

少年総監督として安達友信

【バスケット】五名

石原啓吾(三一B)桜井洋佑(三一)

B)木元フライアン(三一A)青木和也(二一A)鹿角信夫(二一A)

【自転車競技】二名

池田 諒(三一十二)

飯塚 航(三一十二)

教育環境の充実

事務長 根岸豊年

昨年の教室のリニューアル、そして本年度はトイレの全面改修工事を夏休みに実施した。事前に生徒のアンケートや職員とも話題提供をしながらなるべく多くの要望や意見を取り入れたつもりである。夏休みが終わり、新たなトイレに生徒達はどの様に感じてくれたのか。廊下で会ったとある生徒にどうトイレはと聞いたところ、すこくキレイになったと言う声が大半でした。しかしトイレの数が少なすぎる(絶対数の不足)この問題を早い時期に解決することで、満足度が更に上がる様に工夫したいと思っております。

そして節電型の照明を採用し、随分きれいになったと自負しております。これからもなるべく生徒全体に直接還元できる物を優先的に取り入れ生徒の立場に立った視点で取り組んでいきたいと思っております。

保護者会だより

新年度がスタートして早や半年が経過し、もう後期が始まろうとしています。この半年間、保護者会では、恒例ではあり

保護者会活動はリレー



保護者会長
遠山 浩二

ますが、総会、本部役員会、学年別懇談会、進路講演会、マナーアップ、保護者会通信の発行等の校内行事や県、関東全国の総会への出席等の対外行事に取り組んでまいりました。そして、九月二十四日には、群馬県が開催県として「関東地区私学父母の

会連絡協議会」がホテルメトロポリタン高崎で開催されました。これらのさまざまな行事にご出席と

ご協力戴いた保護者会、学校関係者の方々に、あらためて心から感謝申し上げますとともに、後期の行事へも、引き続きご協力賜ります

第54回全P連大会参加報告

副会長(総務委員長)

武田 弘之

今年度は「愛と夢 つなごう心の懸け橋で」をスローガンに掲げ、第五十四回全国高等学校PTA連合大会香川大会が高松総合体育館を主会場に開催されました。式典終了後に岡本敏子(岡本太郎記念館館長)による「いま、生きる力」という題目の記念講演を拝聴させていただきました

ました。館長は岡本太郎氏の幼少の頃からのエピソードを交え、太郎氏の人生観、生き様の中から、現在の子どもたちをとりまく学校、家庭のありかたについて語られた。現在の子どもたちは、小さい頃から他人と違っていたり、何か突出したものがあると、それは駄目とか、みんなと違うじやないのとか、親や先生から押さえつけられて大きくなっている様な気がする。親も学校も周囲の子どもたちと同じであれば安心していい。個人の個性の芽を摘みとらないで、伸びる力を信じてあげる。それが最高の教

よう切にお願い申し上げます。

さて、過日、全国知事会が開催され、小泉内閣の三位一体改革の一環として、地方への財源移譲と補助金削減が議論され、異例にも多数決で採択をするということが報道されました。地方へ三兆円の財源移譲する代替に、三兆二千億の補助金を削減するというものです。この中には、義務教育をはじめ、私学助成補助金も含まれているとの事です。

これは、学校関係者のみならず、私達保護者にとっても財布に直結する問題で、重大な関心事です。従来、国が一律の基準で交付していた補助金が、その地方(県)の判断で特色と多様性のある補助制度に移行することが予測され、よくな

る反面、公私立間の負担の格差が今まで以上に広がることも懸念されます。世の不況は、国や地方自治体の財政難をも招き、聖域とまで言われていた教育にまで、その皺寄せが迫ってきたというところでしようか。

しかし、「人づくりは国づくり」と言われるように、よい国、よい社会を形成するには、行政がもつと教育に力を注ぐべきと、今こそ声を上げなければならぬと思っております。保護者会においても、私達が在籍するのはわずか三年ですが、リレーと同様に、「その時々々の課題には、その時々々の人が責任をもって取り組み、次代にバトンタッチする」という必要性をあらためて感じた夏でした。

第3回「おはよう」

副会長(生徒指導委員長) 鈴木美奈子

マナーアップって「なに？」

と思つた事ありませんか？朝、交差点などで交通安全のために行う旗振りです。交通マナーだけではなく、子供達の朝の様子があががえて結構楽しいものです。急がしそくに挨拶をする子！仕方なく挨拶する子！大きな声で挨拶してくれる子！朝の子供達には、いろいろな「おはよう」があります。あたり前のように過ぎてしまふ通学路、子供達が事故のないように毎日元気に登校できますようにと見守って行きたいと思ひます。

教育実習を終えて

瀬間 朋子(鎌倉中出身) 高崎経済大学地域政策学部(公民)



私は、公民科現代社会の実習生として、金子雅人先生のご指導の下、2週間お世話になりました。全体を通して、机上の学習だけでなく、実践する事の大切さを再認識しました。

この実習で最も印象に残っている事は、生徒の皆さんに書いてもらったアンケートです。私の授業に色々な意見を寄せても

教育実習を終えて

片平 真貴(前橋四中出身) 日本体育大学体育学部(保体)



六月に、保健体育で教育実習をして、教師という難しい職業の一部分を体験させて頂き教えることの難しさを痛感しました。しかし、それと同時に、とてもやりがいのある職業だと感じました。私の伝えたいことが、きちんと生徒

に伝わったり、笑顔で、楽しい授業ができた時にはとても感動しました。それも、指導教官の平沢仁先生を始めとする、たくさんの方々の先生方の心のこもったご指導のおかげだと思います。そして、この貴重な体験を活かし今後の職業選択を考えていきたいと思ひます。

担当させて頂いた生徒の皆さんどうもありがとうございました。

全国大会出席の本部役員



進路講演会

副会長(進路指導委員長) 平 裕子

記録的な猛暑が続く最中の七月二十四日(土曜日)、視聴覚室にたくさん保護者が集い進路講演会が開かれました。

講師に永井一郎先生(株)さんぼうの専任講師をお迎えして「黙ってうなずきながら聞き、それとなく一言を」と題して講演していただきました。

先生はご自分の豊富な指導実績をもとにしながら、家庭でのマナー作りの大切さ、子供達が自分の好きなこと、やってみたいこと、その延長にある仕事を勝ち取ることの大切さを熱く語つ

てくださいました。

また、「おかあさん方は子供をおもいつきり抱きしめてあげてください。」とユーモアをまじえながら話された時は、会場から笑いどぎわめきがおこり、和やかなムードが漂いました。

育英高校の印象については校門を入るとき生徒達に、笑顔で心のこもった暖かい挨拶を受けたことに触れられ、素晴らしい学校との評価をいただきました。子供達を信じることの大切さなどを話されながら、あつという間に一時間半がすぎました。

大学訪問『百問は一見に如かず』

副会長(進路指導副委員長) 佐藤 睦美

本年度研修会実施について、保護者会の進路指導委員会が主となり計画を進めてまいりました。

「進学者が比較的多い県近郊の大学を」と言うことで、日本薬科大学と大東文化大学に決定しました。日本薬科大学は、埼玉県伊奈町に昨年開校した素晴らしい設備を誇る大学です。大東文化大学は文系の総合大

学ですが、一・二年生が学ぶ東松山キャンパスを見学します。今回は、参加の呼びかけを全校の保護者に拡大し、生徒の同行も認めることにしました。子供達の進路選択の参考になればと願いつつ、有意義な見学会にしたいと思っておりますので奮ってご参加下さい。



大学訪問実施について

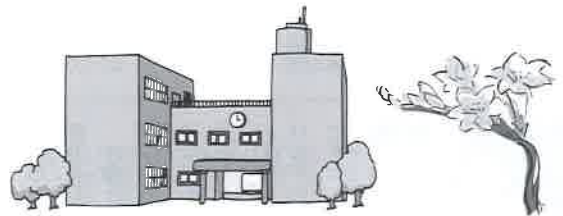
初秋の候、皆様には益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育活動に多大なるご協力・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

早速ですが、本年度研修会実施について保護者会進路指導委員会が主となり計画を進めてまいりましたが、研修視察先が下記の通り決定いたしました。両校とも本校からの進学者が比較的多い大学です。

つきましては、有意義な研修会にいたしたく願っておりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

尚、生徒の参加も認めておりますので、希望者は連名で申し込んで下さい。

- 記
- 日 時 平成16年10月9日(土)
 集合・出発 AM8:00
 帰着予定 PM4:00
- 集合場所 本校西門
- 研修先 ①日本薬科大学(埼玉県北足立郡伊奈町)
 ②大東文化大学(東松山キャンパス)



16年度PTA関係研修会日程

大会名	日程	場所	参加者
県私学父母の会連合会総会	6/4(金)	メトロポリタン高崎	佐田前会長・遠山会長・平・杉本・新井・鈴木(美)・中川校長
県PTA連合大会総会	6/11(金)~12(土)	伊香保ホテル天坊	遠山会長・板橋・武田・池内・加藤・佐藤・木村・石坂・中川校長・中井次長
16年度関東PTA連合会	7/10(土)~11(日)	横浜市パシフィコ横浜国立大ホール他	遠山会長・小田切・岩木・加藤・佐藤・木村・佐藤泰教頭・根岸事務長
16年度全国PTA連合会	8/18(水)~20(金)	香川県高松市総合体育館他	遠山会長・平・谷先・重山・野村・宮口・武田・小茂田副校長・中井次長
第25回関東私学父母の会連絡協議会	9/24(金)	メトロポリタン高崎	中川校長・小林教頭
中毛地区高等学校PTA指導者研究集	10/6(水)	伊勢崎市民文化会館小ホール	
県PTA指導者研究集会	11/24(水)	前橋テルサ	
関東私学父母の会全国大会	12月	(日比谷公会堂)	(遠山会長・中川校長)

交通ルール 守るあなたが 守られる

自転車の運転は危険を伴います
安全な運転を心がけましょう

- 主な自転車の交通違反
1. 二人乗り
 2. 信号無視
 3. 無灯火
 4. 並進運転
 5. 右側通行
 6. 傘さし運転
 7. 指定場所一時不停止
 8. 酒酔い運転
 9. プレーキ等整備不良
 10. 安全運転義務違反(走行中の携帯電話使用等)

中・高校生の交通事故の約6割が自転車による事故です。
気をつけましょう!
前橋市青少年補導センター補導員会

茶道部だより

顧問 矢島まり子



毎週一回、主に月曜日の放課後南校舎茶華道室にて稽古をしています。流派は江戸千家で、昨年の育英祭には、書道部による作品展示の中、立札欄簿茶風呂点前を未熟ながら披露させていただきました。

茶の湯は一服のお茶を点て、それをいただくというとてもシンプルな所作ですが、その作法や心得は自然に社会生活に必要なマナーにつながり、快い緊迫感に日常の自分を直すきっかけにもなります。

私たちはまだ作法を覚えるのが精一杯で、時々出される生菓子を楽しみであたりしますが、科や学年を越えたメンバーで和気あいなとした雰囲気の中、四季折々の季節感を大切に、日本の伝統文化にちよつぱり触れることで、視野を広げていこうと思っております。

前橋育英

雄渾

同窓会
だより

今や群馬の私学の要

かなめ

同窓会長 関根 映一
(第一期生)



日頃より、同窓会員の皆様には、母校発展のため、物心両面に亘るご協力に対しまして心より感謝申し上げます。御承知の

とおり、我が母校も創立四十周年を過ぎ、卒業生も二万人弱となり、各方面で活躍しております。今や群馬の私学高校の要となり、輝かしい伝統を築いております。たのしい限りであり、大いなる発展を期待しております。

であります。さて、本年夏、同窓会総会において、役員一同心あたらに、同窓会行事に、積極的に参加することを誓い終了致しました。今年度の夏を振りかえると、酷暑の連続で、身体の調子を崩した人も多かったのではないかと思います。そして又、大型の台風により、洪水、暴風等々の災害で、日本列島に被害が続出致しました。さらに地震、浅間山の爆発まであり、又テロや凶悪な事件など、暗いニュースがありました。この様な状況下、夏のアテネで行なわれた夢の祭典、オリンピックでニッポン選手の史上最多のメダル獲得、まさに熱き十九日間でした。見事このオリンピック出場を果た

した本校出身、重量挙げの山田政晴もその一人であります。我が母校の誇りでもあります。本人にとっては、練習の積み重ねと努力の賜ものであったと思えます。私は、オリンピックを通して、感動とドラマに「ありがとう」の感謝の言葉を捧げたいと思います。最後に、二十世紀最高峰の歴史家トインビー博士が「指導者の条件」で綴り残しております。それは「勇氣」「無私の精神」「人々への思いやり」「目標への執念」等々です。同窓生の皆様、「忍耐強い人は戦いに勝つ」の名言もあります。健康を保ち、社会の中で、頑張つていこうではありませんか。

蘭に魅せられて



長壁 彦幸
(第七期生)
(岡田蘭園勤務)

卒業後、私は当時県内唯一のデパート前三百貨店に就職し、職種は家庭用品売場、婦人服売場をそしてまた家庭用品売場へと移動しました。この時期蘭との出会い現在の職業がありました。私は販売促進部から洋蘭展の企画、販売を任せられ洋蘭展を開催、初日は一

月下旬小雪の舞う厳しい寒さにもかかわらず、大勢のお客様が来店され会場では、当時高価な洋蘭(シンビジウム、カトレア)が良く売れた事を今でも覚えています。昭和五十九年十二月で前三百貨店を退職し、当時洋蘭展でお世話になった岡田蘭園に再就職し現在に至っています。

豪華で美しい花を咲かせる洋蘭は、少し前までは一部の趣味人が楽しむものでしたが最近では手軽に入手できるようになり、ぐっと身近な花になりました。私が勤める岡田蘭園は趣味人向けの、南米(ブラジル)原産のカトレア原種を始め各種洋蘭を栽培、販売しています。洋蘭業界もここ数年

前より日本各地で国際的洋蘭展を開催し、北は北海道札幌から南は九州福岡県まで至ります。なかでも東京ドームで開催される、世界蘭展日本大賞は開催期間中(九月四日)四〇万人の人々が訪れます。私(会社)も毎年二月開催される東京ドーム、世界蘭展に本大賞を



皮切りに、青森県、神戸市、石川県、札幌市と各地蘭展に参加し展示販売をしていきます。洋蘭という、高価で、栽培も難しいと多くのかたが思われがちですが、最近では値段も安く、栽培もやさしく室内で十分育てられる、寒さに強い品種も多くありますので、是非一度、洋蘭栽培にチャレンジしてみてください。

親子二代同窓生

弟の手本となる兄に

石田 賢一郎
(第十四期生)

石田 慎史
(第四十期生)



私は昭和五十四年三月に育英高校を卒業し、現在吉岡村で会社員をしております。育英高校時代は野球部に所属していました。二年生の春の大会で富岡高校と対戦した試合が一番記憶に残っています。私はその試合打撃が好調で三打数二安打を放ち、県でベスト8(あるいは16)まで勝ち進んだことを覚えています。

息子の慎史は現在育英高校の二年普通科に在籍し、私と同じく野球部に入りピッチャーをやっています。息子は小学校四年から野球を始め、赤城北中、育英高校と八年目を迎えたわけですが、高校での野球も残す所一年となりました。これから冬場にかけて、精神面と技術面をさらに強化し、悔いのない野球生活を送ってもらいたいと思っております。野球はもろろんの事ですが、スポーツは精神的に充実していませんと相手との駆け引きに勝つていきますので、精神面でも技術面でも弟の手本となるような兄になつてもらいたいと思っております。育英高校野球部は新チームになつて打撃はしっかりしていますので、あとは投手陣が頑張らねばなりません。育英高校野球部が念願の甲子園出場を実現するようにと期待しております。

硬式野球秋季大会



育英	対	榛名	0
8	:		
育英	対	前東	0
10	:		
育英	対	桐商	5
6	:		

私の近況報告

社会に貢献できる会社に

小峰 昭
(第三期生)
(サンデン(株))



群馬県に生産拠点のあるサンデン(株)という会社で仕事をしています。一年くらい前に勤務地が伊勢崎から東京になりました。現在の役割は常務取締役として、会社経営の全般を担当しています。会社は、流通システム事業と住宅環境事業、および自動車機器事業と大きく三つの事業から成り立っています。お客様は世界中に事業を展開している企業ばかりです。従って我々も世界中に拠点を設け、開発・生産し製品を供給させて頂いています。社会に貢献し景気に左右されずに成長し続ける、しっかりと会社にしたいたいと毎日励んでいます。

私が育英高校にお世話になったころは、まだ基礎固めの時代でした。それだけに、進取の精

神に溢れたとても充実した時代を過ごすことが出来ました。こうして文章を書いていると、学園闘争でろくに受験勉強もせずに熟っぽく議論をしていたことが、すでに四十年近くも経っていると思えないほど、鮮やかに記憶がよみがえってまいります。社会人になって毎日ビジネスに明け暮れています。自分で考えて自分を信じて全力を尽くす、という気概がそのころの経験を通じて養われた気がしています。何かに夢中になって、本気で取り組みという気持ちを持ち続けることができると、つくづく思います。今でも一期と三期の気の合った仲間たちと年に何度か集まって、飲んだり近くの山にハイキングに出かけたりして、日頃のストレスを解消しています。青春の一時代をとともに過ごした友人のありがたさを、今更ながらかみしめています。

様々な出会い

利根川 貴一
(第二十六期生)
(前橋市役所)

吉田先生より突然「近況報告」と依頼され、久しぶりに原稿



用紙に向かっています。

私は、平成三年四月に信州大学経済学部に入学し、平成七年四月から前橋市役所職員として働いています。

最初の職場は水道局という所で、主に水道料金関係の仕事をしました。辞令交付式(入社式)で職場の上司が迎えに来てくださったのですが、あとで話を聞くと、育英高校一期生の大先輩でした。結構身近に、育英OBの方がいらつしやるのだなあ、と思いました。

社会人二年目に結婚したのですが、その際も、その一期生の上司が首頭をとって、「祝賀会なるものを開催してくださいました。



創立前から本校の前の前橋・長瀬線に立つお地蔵様 (真中奥が本校舎)

その後、指導局の総務関係の仕事をし、一年間、群馬県企業局へ研修として派遣させて頂いた。平成十四年度から、初めて前橋市役所の建物の中で働いています。それまでは、前橋市役所職員でありながら、一度も市役所の建物で働いたことがありませんでした。

また、今年の四月に現在の職場に異動したのですが、ここでも一期生の方がいらつしやいました。さらには中学・高校と同級生の親友とも同じ職場になりました。親友が市役所にいるのは当然知っていました。まさか一緒に職場になるとは夢にも思っていませんでしたので、異動の話聞いたときは、お互いにとても驚きました。

社会人になって十年目ですが、職場でも私生活でも様々な出会いによって支えられていると実感している今日この頃です。

子供達の笑顔の中で

神戸 礼
(第三十二期生)
(玉村町立第四保育所)



私が保育士の仕事を始めて、早いもので六年目になりました。子どもが好きという理由で目指した道でしたが、実際には好きだけではどうにもならない事が沢山あつて、悩んだり落ち込んだ時もありました。しかし、先輩方からアドバイスを頂いたり、励まされながら続ける事が出来ました。今年度は初めて0歳児クラスを担任する事になり、勉強の毎日です。日々子ども達の成長に驚き、保育の難しさを改めて実感させられています。

プライベートでは、十二月に結婚する事が決まり、準備に追われています。結婚後も仕事を続けるつもりでいるので、自分が家庭を持ち、親になる事で仕事面でもプラスになればと思っています。

最近、子どもに関わる悲しい事件が毎日のように流れてきます。親として、保育士として、このような悲しい事件に巻き込まれる事のない世の中を願うばかりです。これからも子ども達の素敵な笑顔の中で、しっかりと頑張っていこうと思っています。

注意して下さい!!

最近「育英同窓会事務局の者ですが」とかたり、皆様の住所や連絡先を聞く輩がいて、卒業生の父母や本人からの問い合わせが多くなっています。本校事務局の同窓会名簿発行による住所確認作業は「N T T ビジネスサポート」のみに委託しておりますので、他業者からの問い合わせには応じないで下さい。本校同窓会の名簿発行は五年ごとですので、次回は平成二十年となります。

同窓会事務局より

後援会だより

育英生のクラブ活動の充実のために

一昨年の大型学園バスに続き 今年度はワゴン車を寄贈。

一昨年の大型学園バスに続き今年度はワゴン車を寄贈。

前橋育英高等学校後援会としては、生徒の皆さんの学校生活がより充実し、学習・スポーツ両面において、その実力を発揮よい成果を得られるよう、学校施設の整備、クラブ活動向上のため、後援会費の活用、積み立てをしています。



前橋育英高等学校 後援会会長 前田 勇

去る七月、平成十六年度インターハイの壮行激励会に出席し、凛々しい選手諸君の姿に接し、胸の熱くなる感動を覚えました。

そして、島根県での全国大会で群馬県代表として、前橋育英の名誉をかけ健闘、素晴らしい成果を挙げてくれました。

これまでも、毎年クラブ活動に対する支援を行ってきましたが、今年度は十人乗りの日産キャラバン・四ドア「コーチ」を購入、高等学校に寄贈、去る七月十六日学校にて贈呈式が行われました。

今回のワゴン車は、一昨年の五十五人乗りの大型学園バスに次ぐもので、主として、少人数のクラブの移動や学園行事に利用されるものです。ボディのスクール名は、大型バスと同じ、ブルーの地に白抜き横文字のスマートかつスピード感あふれるものとなりました。

大型・小型両方の車を使い分け、日々のクラブ・部活動がより一層、安全、軽快、充実したものになって欲しいと思います。

痛感します。近年、本校への社会的評価が高まっている所以は、このようなことも相まって、このようないかと思えます。後援会としても、育英の生徒の皆さんが、勉学にスポーツに思う存分その力が発揮できる環境づくりに、一層力を注いでいきたいと思います。

在校生は勿論、卒業生や父母、関係者すべてにとつて、誇れる母校『前橋育英』の発展のため、力を尽し貢献出来るよう、後援会各位のご理解とご協力をお願いいたします。

今、『前橋育英』は、目標に向かってひたむきに努力する校風の中、スポーツをはじめ学習面でも優れた成績を収めています。



キャラバンの贈呈式

楽しく、ためになる 研修旅行に参加しましょう!!

後援会・保護者会・同窓会・協力会、 合同視察研修旅行日程決まる。

11月5日(金)～6日(土) 神奈川「日本大学・藤沢高等学校」へ

今年度九回目となる三者合同による先進私学校への視察研修旅行は、十一月五日(金)～六日(土)の二泊二日で、日本大学藤沢高等学校および真鶴方面と決まりました。

例年、後援会、保護者会、同窓会、協力会、学校、学園本部のメンバーが、学園バスに同乗楽しい二日間を過ごし、先進私学校の施設や学校運営、生徒の活動を視察し、前橋育英のために生かしてきました。

今回お邪魔する日大藤沢高校は、昭和二十二年に創設された日本大学の附属高校です。卒業生の六割以上は日大へ進学していますが、スポーツは勿論学習面でも特進クラスや特待制度、週六日制授業や土曜講座の開設など、育英高校と共通点を多く持っているようです。



日大藤沢高校のオープンエアシアターと校舎(西側)

学校は、湘南の地、鎌倉・逗子・浦半島にも近く、少し足を延ばせば、小田原・熱海・箱根と秋の紅葉と温泉といった景勝地を控えています。研修旅行については、後程皆様にご案内いたしますのでふるって御参加下さい。

平成十六年度 第22回、 後援会総会開く

七月二日(金)
前橋ミヤマ会館にて

昭和三十八年四月、現在地に育英高等学校が設立され四十二年、昭和五十七年から活動を始めた後援会も早や二十三年、会員数も延べ七百人近くになり、大きな力となっています。

今年度は、クラブ活動費の援助金として七二〇万円余の交付を行い、十人乗りワゴン車の寄贈他、後援会始め関係各組織と今後の学校運営に資するため他校への研修視察を実施することいたしました。

また、新役員人事では、前田会長他の役員を再任、遠山浩二保護者会長を新副会長に、また各新理事を選出しました。なお、監査役として永年ご貢献いただいた駒田幸雄氏が都合により退任、後任として城田博巳氏が選任されました。

合同紙広報委員

- 保護者会 重山 優子 文化委員長
- 同窓会 吉田 幸一 (副会長)
- 後援会 城田 博巳 常任理事
- 学園 中村 正人 (総務課長)
- 高校 佐藤泰一郎 (教頭)
- 根岸 豊年 (事務長)

これまでの視察校一覧

回数	日程	訪問校
第1回	63.2.21 ～22	埼玉栄高校
第2回	元.11.26 ～27	仙台育英高校
第3回	2.11.25 ～26	横浜松蔭学園
第4回	3.11.24 ～25	作新学院 高等学校
第5回	4.11.15 ～16	常葉学園 高等学校
第6回	13.12.7 ～8	星稜高校
第7回	14.11.8 ～9	山梨学院大学
第8回	15.11.7 ～8	八千代松陰 高等学校
第9回	16.11.5 ～6	日本大学 藤沢高等学校